

広島県内 報道関係者各位

バイテック情報普及会

「農業女子が昆虫を育てて食べる！ ～広島の特産物残渣を餌にした食用昆虫，宇宙へ～」

★広島県立西条農業高等学校 第6回高校生科学教育大賞 優秀賞受賞 (バイテック情報普及会より活動支援金として10万円を支給)

バイテック情報普及会(東京都千代田区)は、「第6回高校生科学教育大賞」において広島県立西条農業高等学校広島県立西条農業高等学校を優秀賞に選定し、活動支援金として10万円を支給することを決定しましたので、お知らせいたします。

高校生科学大賞は、バイテック情報普及会が高校生に「植物バイオテクノロジー」と「持続可能な農業」についてより深く学び考えるきっかけとしてもらうことを目的に2017年に設立された教育支援プログラムです。

【食用コオロギを育てて宇宙へ】

今回優秀賞に選定された広島県立西条農業高等学校の女子生徒チームによる「農業女子が昆虫を育てて食べる！～広島の特産物残渣を餌にした食用昆虫，宇宙へ～」は広島の特産物の残渣(広島焼き:キャベツの芯，尾道ラーメン:出汁で使った煮干し)と、農場で捨てられる野菜等で飼料を作り、その飼料でコオロギを育て、調理して実際に食しながら、コオロギ料理を考案し昆虫食の普及を行うというものです。

残渣を用いて飼料を作り、その飼料で食用コオロギを育てることを通じて、食品リサイクルと世界規模のタンパク質不足という2つの課題を解決しようという壮大な試みです。高校生ならではの着目点が秀逸であり、育てたコオロギを宇宙食として提案するなど、発想もユニークである点が高く評価されました。

生徒たちがコオロギを懸命に飼育している様子をぜひ取材してください。



他の受賞校などの詳細は右記ウェブサイトをご覧ください。 <https://cbijapan.com/education/>

◎取材は直接、同高校(電話 082-423-2921、担当は大野佑二郎教諭)へ問い合わせてください。

※ バイテック情報普及会は、植物科学やバイテック作物の開発企業で構成する国際組織「クロップライフ・インターナショナル(本部ブリュッセル)」傘下の任意団体として2001年10月1日に設立され、持続可能な農業の実現や食料の安定供給への貢献を念頭に、サイエンスベースで透明性ある許認可システムの構築を支援するための活動や幅広いステークホルダーの皆様へバイオテクノロジーの重要性をご理解いただくための広報活動を行っています。 <https://cbijapan.com>

※ バイテック情報普及会会員企業: コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社、シンジェンタジャパン株式会社、
ダウ・アグロサイエンス日本株式会社、バイエル クロップサイエンス株式会社、BASF ジャパン株式会社(50音順)